

# つばめの話

小川未明

青空文庫



## 上

夏の初めになると、南の方の国から、つばめが北の方の国に飛んできました。そして、電線や、屋根の上や、高いところに止まって、なきました。広い野原の中を汽車がゆくときに、つばめは、電線の上にと止まって、じつとながめていたこともあります。また、青い海辺に連なる電線に止まって、海の方を見ていたこともあります。けれど、また町の人家の店頭に巣を造って日が暮れるころになると、みんな家の中の天井の巣の中に入って休みます。そして、夜が明けると外に出て、空や往來の上をひらひらと飛びまわっていないのであります。

太郎は、ほかの家には、つばめが巣を造って毎日、店頭から出たり入ったりするのを見て、なぜ自分の家にも巣を造らないのかと思いました。そして、このことをお母さんに話しますと、

「つばめが、巣の造れるように、場所を造ってやらなければなりません。」

と、お母さんはいわれました。

「どうか、つばめが巢の造られるように場所を造ってください。」  
「といつて、太郎はお母さんに頼みました。」

太郎のお母さんは、このことを太郎のお父さんに話しました。お父さんは、店頭みせさきの梁はりへ箱はこのように板いたをつけました。こうしておけば、どこかい場所ばしょがないかと探さがしているつばめが見みつけて、きつとここに巢すを造るにちがいないからであります。

太郎は、早くつばめがここにくるようにと待つていました。すると、ある日ひのこと、つばめが入はいつてきてこの場所ばしょに止とまりました。そのつぎには、二羽わでここにやってきました。そして、そこに止とまって頭あたまをかしげてなにやら考かんがえているようなようすでありましたが、その日ひから毎まい日にち、二羽わのつばめは、どこからか、土つちや、髪かみの毛けや、わらくずなどをくわえて運はこんできて、せつせと巢すを造りはじめました。そして、やがて完かん全ぜんに巢すを造つくてしましますと、雌めす鳥すは巢すについて卵たまごを産うみました。夏なつの半なかばころには、もはやつばめの子供こどもがなくようになりました。太郎はかわいくてたまりませんでした。そのうちに秋あきがきて、秋あきも半なかばを過すぎますと、つばめはどこにか、みんな飛とんでいってしまいました。

その明くる年も、またつぎの明くる年も、つばめは夏の初めになると、飛んできました。そして、長い月日をそこに送りました。やがて秋がきてしだいに寒くなる時分になると、どこへか飛んでゆきました。

太郎が、小学校の四年生になった年の夏の初めでありました。どここの家にもつばめが帰ってきました。どうしたことが独り太郎の家にはつばめがきませんでした。太郎はもうしたのだろうと、毎日、つばめの帰ってくるのを待っていました。

「きつと、そのうちに帰ってくるのでしよう。」

と、お母さんがいわれたけれど、なかなか帰ってきそうなようすがありませんでした。太郎は、心配でならなかったのです。帰る路を忘れてしまったのではないか、それとも変わったことでもあったのではないかと思ひ煩っていたのであります。すると、不思議なことに、ある夜、太郎は夢を見ました。つばめが帰ってきて、太郎に告げたのであります。太郎さん、去年の秋のことでありました。私も親子のものは、この国もだんだん寒くなつたから、南の暖かな、花の咲いて、木の実の熟している夏の国へ帰ろうと思ひました。ある小さな島までやってまいりました。その島には、同じ南の国に帰る連れがたくさ

んいました。

そこから、広々とした海を渡らなければなりません。しかし、海にはいつも多くの船が走っています。その船のほぼしらや、綱の上にと止まって、疲れを休めてまた旅をつづけるのであります。ある夕焼けの美しい晩方、私どもの群れは、いよいよ旅に上りました。そして、一日も早く花の咲いている、木の実に熟している暖かな国に帰ろうと思いました。すると二日めの夜のこと、思いがけなく暴風雨に出あいました、みんなまったくゆくえ不明になつてしまいました。私とほかの二、三のものだけが、やつと一その船を見出して、そのほぼしらに止まって命が助かりました。私は、太郎さんにそのことを知らせにまいりました。と、つばめがいうと、太郎は夢がさめました。その明くる日、一羽のつばめが古巣にきて、さびしそうにいましたが、晩方、どこにか飛んでいつてしまいました。

# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 二 講談社

1976（昭和51）年11月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第2刷発行

※表題は底本では、「つばめの話《はなし》」となっております。

入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班

校正：ぷろぼの青空工作員チーム校正班

2011年11月2日作成

2012年9月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# つばめの話

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>